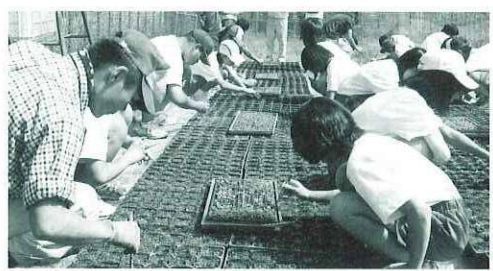


9/8・29

今度はパンジーの花



種まき



鉢上げ

今年度が最後の年となる県事業「花のゆりかごプロジェクト」が高山中の1年生32名を対象に、中之条高校の先生と草花ボランティアの生徒が講師となり、高山村花いっぱいネットワークの方にも協力していただき、9月8日（種まき講習会）と9月29日（鉢上げ講習会）に開催されました。春には、小学校でジニア（百日草）をまきましたが、中学校では、

寒さに強いパンジーの花の種をまきました。中学1年生は、小学6年生の時にも種まきと鉢上げを体験しているので、慣れている様子でした。高校3年生の草花ボランティアのお兄さんとお姉さんが今回も熱心にわかりやすく指導してくれました。8000株の苗は、11月頃学校や道路沿いに植えられます。

9/19

三島神社の秋祭り



9月19日、三島神社の秋祭りが行われました。秋の豊作に感謝するお祭りとして神事の後、太々神楽が奉納されました。小さいお子さんにはお菓子が配られたり、太々神楽の舞の途中では投げ餅があったり、子供たちは大喜びでした。

9/23

「真田道を行く」



中山宿新田本陣にて



中山城跡へ向かう人々

9月23日（金）、東吾妻町・中之条町・高山村3町村ガイドボランティア連携講座「真田道を行く」が開講されました。県内外から約60名の方が参加し、各町村の歴史や食・伝統に触れました。高山村では中山城跡、三国街道中山宿新田本陣、尻高人形を、7月に発足した高山村ガイドボランティアが案内しました。参加者の方は「とても勉強になった」「尻高人形はなかなか観られないので貴重な体験ができました」と満足されていました。

9/24

デイウォーク
いたかやま

9月24日(土)、晴れ渡る秋空の下、高山村ガイドボランティアが村を歩いて案内するイベント、デイウォーク in いたかやまが開催されました。

村内外から31名の方が参加され、美しい田園風景の中を歩きながら、村の史跡・名所、蕎麦屋、直売所を巡りました。参加者からは「ガイドさんの説明が丁寧でわかりやすく、村の歴史や自然を満喫することができた」「歩くことで普段気づかないことに気づくことができました」「田舎ならではの風景をこれからも残していってほしい」との意見・感想をいただきました。



9/24

ナイトウォーク
いたかやま

9月24日、高山村のきれいな星空を眺めながら歩く「ナイトウォーク in いたかやま」が開催されました。

村内外から集まった約180名の参加者は、天文台で星空教室に参加した後、途中2カ所で休憩しながらふれあいプラザまで約5キロのウォーキングを楽しみました。ゴールでは、村の花「りんどう」と高山産米「月あかね」のおにぎりが配布されました。参加者からは、「天の川が見れてうれしかった。」「また参加したい。」「との感想をいただきました。」との感想をいただきました。



天文台で星空教室

10/1

うさぎさん
刈られました！

10月1日、ふれあいプラザ南の田んぼアートのうさぎの稲刈りが行われました。村内の親子や東京、高崎からの一般参加者も交え、総勢20名でうさ

ぎの部分は手刈りで行われました。昨年の藁を縛った縄で縛り、ねじり棒がけに挑戦しました。収穫されたお米は村内での給食にも使用されます。



10/4

5年生が
稲刈り

10月4日、高山小の5年生が稲刈りをしました。大勢で手刈りしたので、あつという間に刈れました。その後、稲の丈をそろえて麻縄で結び、はんに掛けました。

みんなで作った「かかし」には、ネックレスや腕時計を身につけているものもいて見る人を楽しませてくれました。



10/5

あま〜いぶどう狩り

10月5日、銀河高原ファーム（判形地区後藤明宏さん）のぶどう畑で、幼稚園の5歳児がぶどう狩りを体験しました。

後藤さんから、「ぶどうの栽培方法や種類について説明していただくと、「なんで種がないんですか?」「どうしてぶどうを作っているのですか?」など、質問する園児もいて、地域の農産物について興味を示す姿がありました。



「自分で選んだぶどうを手にはイチーズ!!」



「後藤さんのお話に興味津々!!」



「大きい粒のぶどうを選んだよ」

い!」と園児たちは大喜びでした。村内で栽培されたぶどうを味わい、故郷の良さをも味わうことができたようです。その後、「どれにしようかな?」と迷いながら選んだぶどうをハサミで切って、うれしそうに大切に持ち帰りました。

10/8

避難者と食改推の交流

10月8日（土）最後の昼食お手伝いに本宿、新田地区の6名とふるさと協力隊を含む計11名でわらび荘に行ってきました。

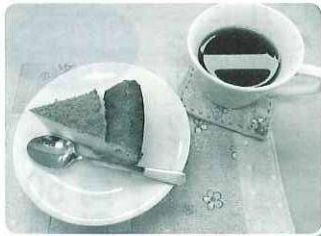
今月末でわらび荘を退去する皆さんへ、今後もお元気で生活できるよう願い、献立に「お赤飯」を用意しました。

他には、高山村の味を忘れずにという気持ちで「すいとん」「手作りこんにやくのみそおでん」「煮物」などを作りました。今回も大変に好評でした。

半年間の期間、月に1度の協力でしたが、皆さんに喜んでもらい、お礼の挨拶をいただき、少しでもお役に立てた活動ができて良かったと感じました。

食改推の方におかれましては、大変ご苦労さまでした。





10/11

子育て支援センター
始まりました！

10月11日(火)より交流施設なごみにて子育て支援センターが始まりました。たくさんのお母さんやおばあちゃんとかども達が来て、美味しいコーヒーと手作りお菓子を食べながら、子育ての悩みを話し合ったり情報の交換をしたりと、とても楽しそうに過ごしていました。こども達もすぐに仲良くなり、おもちゃを使ってみんなで遊ぶ姿が見られました。

10/12

『小学校伝統芸能教室』開催

10月12日(水) 小学校において県民芸術祭参加事業「高山小学校伝統芸能教室」が開催されました。

今年で13回目になる伝統芸能教室は、尻高人形錦松会が所属する「ぐんま人形芝居連絡協議会」が(財)群馬県教育文化事業団より委託され、小学生に地域の伝統芸能に興味・関心をもつもらうために実施している教室です。



われ、全校児童の前で練習の成果を堂々と見せてくれました。保護者をはじめ大勢の村民の方々に来ていただき賑やかな教室になりました。

児童の実演の後には、人形操作・三味線・義太夫等に直接触れられる体験学習タイムを設け、錦松会座員や実演を終えた児童に操作や弾き方等の指導や説明をしていただきました。



10月12日、葉タバコ農家に何うと4回目に収穫した葉の選別作業が行われていました。部屋に入ると乾燥した葉タバコの良いにおいがしました。麻縄にはさんで乾燥した葉を今度は一枚ずつ引き抜き選別していきます。(選別は、黒かったり、腐っている葉を抜いていきます。)

次に葉を同じくらいの量に束ね、専用の葉タバコ梱包機に1度に30連入れて圧搾(強い力でじわじわと押し縮める)します。乾いている葉はなかなか圧搾されにくいそうです。これを白い袋に入れ梱包します。この作業が11月いっぱい続きます。

10/12

葉タバコの選別作業



葉タバコ梱包機の中で
圧搾中の葉



葉タバコ選別のようす